

# 青山大人(あおやまやまと) 県議会報告かわら版50号



平成 25 年 9 月 17 日発行 青山大人事務所 土浦市乙戸 801-2

電話 029-828-7011 FAX 029-828-7012 メール [info@aoyamayamato.net](mailto:info@aoyamayamato.net)

★フェイスブックでは、日常の活動やプライベートについて公開しております。また、メールにて、ファックス番号を送って頂ければ、毎月一回確実にお手元へ議会報告が届きます。

## ～青山大人(あおやま やまと)の略歴～

1979年土浦市生まれ。現在34歳。荒川沖小、土浦三中(陸上部主将)、土浦一高、慶応義塾大学経済学部卒。2006年12月に県議会議員初当選(当時、全国最年少の都道府県議会議員)。2010年12月の県議会議員選挙にて2期目当選。2008年1月に第21回日米青年政治指導者交流プログラム日本代表団に選抜される。街の活性化のため映画ロケを地元へ誘致するなど議会以外でも精力的な活動を展開。東日本大震災時は翌日から市内の水道復旧状況等をいち早くブログで情報発信し、一日での閲覧者が最大35000件を記録。また、福島県や宮城県への被災地支援活動が新聞等で大きく掲載される。現在、県議会農林水産委員会委員、予算特別委員会委員、議会運営委員会委員、土浦市消防団第27分団員(土浦市操法大会へ3度出場)。

## ●茨城県知事選挙を終えて。

この夏は、参議院選挙、茨城県知事選挙と長期間の選挙が続きました。この間は、公職選挙法上の関係で青山の議会報告チラシの配布等ができません。3カ月ぶりの県議会報告かわら版の発行となったことをまずはご理解願います。

さて、皆さまは、9月8日が投開票日だった茨城県知事選挙に投票へ行かれましたでしょうか。今回の知事選の投票率は31.74%と低いものでありました。ここ土浦市では、県内平均をさらに下回る28.12%の結果となりました。これまでの全国の都道府県知事選のワースト10入り(因みに都道府県知事選挙投票率の全国ワースト1位は2011年埼玉県の24.89%、ワースト2位は1981年千葉県の25.38%)や、本県の過去最低は回避されましたが、約240万人の有権者のうち投票した方がたったの約76万人であります。

先に行われた参議院選挙においても県内の投票率が49.66%と全国平均(52.61%)に届かず、全国41位でありました。投票率アップを訴えてきた者、そして政治に関わる者の一人として、この数字を謙虚に受け止め、今後の政治活動に取り組んでいきたいと思えます。

いずれにせよ、産業、福祉、教育、環境の充実を図りながら、農業大県という茨城の特色を伸ばし、バランスの取れた県を目指すとともに、借金の負担の重さを示す将来負担比率が全国ワースト4位の県財政の再建すべく、来月から始まる県議会において新たな任期を迎える6期目の橋本知事に対して是々非々で取り組んでいきます。

## ●茨城空港にミャンマー便が就航に。

茨城空港とミャンマー最大の都市ヤンゴンをつ結ぶ直行便が12月を目途に週3往復で運航する見通しとなりました。ミャンマーとのプログラムチャーター(準定期便)の国内就航は日本初です。茨城-ヤンゴンの所用時間は片道約6~7時間半。2008年に10881人だった日本からミャンマーへの訪問者数は2012年には、47690人に増加しております。

最近まで軍事独裁が続いたミャンマーでは、インフラの整備がまだ遅れていますが、民主化と経済改革が急速に進んでおり、人口も6千万人を超え、近いうちにベトナムやタイのように成長する「アジア最後のフロンティア」とも言われております。

青山も昨年7月、外務省の「21世紀東アジア青年大交流計画」において訪日された将来のミャンマーを担う若手政治家(与党の連邦連帯開発党からアウン・サン・スー・チー氏率いる国民民主連盟まで17政党が参加)とお会いし交流をしております。

茨城空港就航便は札幌、神戸、那覇、上海便と合わせ5便となりました。今後は搭乗実績(目標75%)を見ながら定期便化を検討するとのことでした。

## ●ついに宍塚大岩田線、整備事業化。

イオン土浦開店以降、交通量も格段に増えた宍塚大岩田線。2年前の県議会報告かわら版26号、昨年10月のかかわら版43号でもふれた、拡幅整備事業ですが、ご承知の通り、ついに今年度新規事業化されました。約5000万円が予算化され、地元の方への説明や用地測量、調査設計が始まりました。引き続き、事業の推進に取り組んでいきます。